

# 2011年度決算説明会

中期経営計画(2010~2012年度)

「ステージアップ2012 - 新たなる挑戦 -」の進捗

—— 2012年5月17日(木) ——

宇部興産株式会社

## 説明内容

### **1** 2011年度決算と2012年度業績予想

中期経営計画(2010～2012年度)

### **2** 「ステージアップ2012 -新たななる挑戦-」の進捗

1. 持続的成長を可能にする収益基盤の確立
2. 財務構造改革の継続
3. 地球環境問題への対応と貢献

### **3** 参考資料

# **2011年度決算と2012年度業績予想**

---



## ◎ 化成品・樹脂セグメントを中心に、増収増益

(単位：億円)

項目	'10年度	'11年度	差異	要因
売上高	6,160	6,386	225	販売数量増、 化成品売価上昇 ほか
営業利益	443	460	16	販売数量増、 CPLスプレッド改善 ほか
経常利益	391	408	17	
当期純利益	172	229	57	事業撤退損失縮小
純有利子負債	2,110	2,208	98	
自己資本	1,870	1,994	124	
配当(円/株)	5.0	5.0	0.0	



(単位: 億円)

セグメント	売上高			営業利益		
	'10年度	'11年度	差異	'10年度	'11年度	差異
化成品・樹脂	2,045	2,310	265	200	229	29
機能品・ファイン	687	643	△ 44	87	54	△ 32
医薬	88	111	23	23	37	14
建設資材	2,004	2,091	86	80	86	5
機械・金属成形	834	725	△ 108	17	30	13
エネルギー・環境	591	625	33	40	33	△ 6
その他	268	259	△ 9	11	10	0
調整額*	△ 359	△ 380	△ 21	△ 16	△ 23	△ 6
計	6,160	6,386	225	443	460	16

\* セグメント間消去を含む

(単位: 億円)

項目		'11年度 (A)	'12年度 (B)	差異 (B)-(A)	営業損益 への影響	
為替レート		円/\$	79.1	80.0	0.9	0
資 材 価 格	(CIF)	\$/t	965	950	△ 15	3
	ナフサ (国産)	円/KL	55,000	54,800	△ 200	(0)
	ベンゼン (米欧大口向け 契約価格平均)	\$/t	1,147	1,205	58	△ 19 (△ 21)
	豪州炭 (CIF)	\$/t	143.6	132.1	△ 11.5	22
		円/t	11,360	10,565	△ 795	(19)

( )は為替レート変動影響額を含む



◎内外での設備新增設効果を最大限に発揮し、増収増益を目指すとともに、  
事業環境に対応して成長戦略を推し進める

(単位：億円)

項目	'11年度	'12年度	差異	要因
売上高	6,386	6,780	394	販売数量増ほか
営業利益	460	470	10	販売数量増ほか
経常利益	408	410	2	
当期純利益	229	230	1	
純有利子負債	2,208	2,190	△ 18	
自己資本	1,994	2,200	206	
配当(円/株)	5.0	5.0	0.0	



# - 売上高・営業利益 -

(単位: 億円)

セグメント	売上高			営業利益		
	'11年度	'12年度	差異	'11年度	'12年度	差異
化成品・樹脂	2,310	2,580	270	229	185	△ 44
機能品・ファイン	643	780	137	54	90	36
医薬	111	125	14	37	40	3
建設資材	2,091	2,050	△ 41	86	95	9
機械・金属成形	725	785	60	30	35	5
エネルギー・環境	625	645	20	33	40	7
その他	259	235	△ 24	10	10	0
調整額*	△ 380	△ 420	△ 40	△ 23	△ 25	△ 2
計	6,386	6,780	394	460	470	10

\* セグメント間消去を含む



## 化成品・樹脂



- **カプロラクタム**：中国需要が力強さを欠くなか、台湾・中国での他社設備稼働により需給は緩和へ原料・製品価格と需要の動きに対応し、スプレッドの確保を図るとともに、3極4工場のコスト競争力強化に努め、次期増設を含め、マーケットリーダーとして環境変化に対応していく
- **ナイロン樹脂**：自動車用途、食品用包装フィルムともに需要は堅調タイでの新規大型設備の稼働と、高品質、安定供給を基本とするブランド力を生かし、拡販を加速需給逼迫のナイロン12は、安定供給のための原料確保に注力
- **工業薬品**：アンモニア需要は工業用途が回復し、脱硝用途も堅調に推移国内最大のサプライヤーとして安定供給力と販売網を生かし、拡販を進める
- **合成ゴム**：中国、欧州需要は低調ながら、国内タイヤ向けを中心に需要は堅調大きく変動する原料価格に対しスプレッド確保に注力日本・タイ・中国の3拠点の供給体制を活かし、次期増設に向けマーケティングを積極展開する

(単位：億円)

項目	'09年度	'10年度	'11年度	'12年度	'12年度 (中計目標)
売上高	1,650	2,045	2,310	2,580	2,210
営業利益	47	200	229	185	150

## 機能品・ファイン



- **ポリイミド**：薄型パネル向けフィルム需要は緩やかな回復を見込む。国内外で液晶用シェア拡大に取り組む一方で、太陽電池や韓国SMD社との合併による次世代ディスプレイ向け等、新規成長分野への参入と関連製品の市場開発により、ポリイミドチェーンの強化を図る
- **ガス分離膜**：窒素膜需要は緩やかに回復、除湿膜は堅調、脱炭酸膜は環境関連用途の伸長を見込む
- **電池材料**：リチウムイオン電池の民生用市場拡大に対応しつつ、車載・蓄電等の新市場へも積極展開  
電解液は開発力とコスト競争力強化の一方で、米国ダウ・ケミカル社との合併でグローバルな生産・供給体制を構築中。セパレーターは生産能力増強と並行して、次世代塗布型開発を推進
- **半導体材料**：LED用途の需要増加に伴い、MO第二工場を建設中
- **セラミックス**：工作機・軸受用途をはじめ需要は増加基調。太陽電池部材向け需要も下期から回復を見込む
- **ファインケミカル**：1,6-HDL、PCDの需要は回復基調  
タイのジオール新工場とスペインのPCD2期工場の早期フル稼働を目指す  
DMO、MEGは中国企業への技術ライセンスを積極展開  
DMCは需要の伸長を見据え中国に合併で新工場建設計画に着手

(単位：億円)

項目	'09年度	'10年度	'11年度	'12年度	'12年度 (中計目標)
売上高	603	687	643	780	895
営業利益	32	87	54	90	140

## 医薬



### ■ 自社医薬品：タリオン、カルブロックとも、引き続き数量伸長を見込む

エフィエントは、欧州・米国に続き、海外各国で発売済みで、徐々に数量拡大を見込む  
さらに、グローバル開発の適応症追加、及び国内開発でそれぞれ第3相が進行中  
上市済み3剤の剤形・適応症拡大に向け、パートナー製薬会社の支援を強化

#### 自社開発品

商品名	適応症	パートナー
タリオン	抗アレルギー剤	販売：田辺三菱製薬(株)
カルブロック	血圧降下剤	販売：第一三共(株)
エフィエント	抗血小板剤	販売：米国・イーライリリー社、第一三共(株)

### ■ 受託医薬品：既存品、新規受注原体・中間体の売上拡大を見込む

(単位：億円)

項目	'09年度	'10年度	'11年度	'12年度	'12年度 (中計目標)
売上高	99	88	111	125	170
営業利益	37	23	37	40	80

## 建設資材

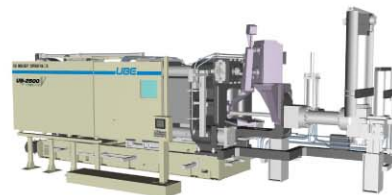


- **セメント・生コン**：震災復興需要も見込まれセメント内需は堅調で、前年度をやや上回る43百万tを見込む  
今後の復興需要と旺盛な輸出市場に柔軟に対応し、設備のフル稼働を維持するとともに、合理化の確実な実施と適正価格の獲得により、利益体質を強化する
- **資源リサイクル**：廃プラ類処理設備など既存設備のフル稼働に加え、汚泥乾燥などの処理設備を強化  
技術開発・収集力強化にも取組み、着実な収入拡大を目指す
- **カルシア・マグネシア**：鉄鋼向け需要は低調ながら、発電用途は好調に推移  
震災復興需要の獲得に注力
- **機能性無機材料**：自動車用樹脂フィラー需要に回復の動きは見られるものの、家電・半導体市場向け高純度粉末需要は当面低調に推移する見通し  
引き続き、MgOターゲット材・熱伝導材、青色蛍光体などの新製品・新規用途の開発に取組み、更なる拡大を推進

(単位：億円)

項目	'09年度	'10年度	'11年度	'12年度	'12年度 (中計目標)
売上高	1,883	2,004	2,091	2,050	1,950
営業利益	61	80	86	95	89

## 機械・金属成形



- **成形機**：成長が続く新興国市場と、回復が進む北米自動車市場の需要取込みに向けて新製品投入と拡販に注力し、インド、インドネシア、タイ、メキシコなどグローバルサービス網の新設・強化により、受注量と収益の拡大を図る
- **産機**：海外調達拡大などによるコスト競争力の強化とともに、新興国市場に向けた新商品開発、及び販売・サービス一体での市場開拓により、縦型ミル・運搬機の受注拡大を図る  
船用機械は、国内外でのLNG船用甲板機械の拡販を行い、受注増を見込む
- **製鋼**：特殊ビレットの鋼種拡大を行い、台湾・インドネシア・タイ・ベトナム・インドなどアジア地区での拡販を図り、昨年並みの受注量を確保する

(単位：億円)

項目	'09年度	'10年度	'11年度	'12年度	'12年度 (中計目標)
売上高	817	834	725	785	945
営業利益	44	17	30	35	58

## エネルギー・環境



- **石炭**：電力需給逼迫に対し高稼働率が見込まれる石炭火力発電所の需要に応え、販売炭・預り炭数量の拡大を目指す一方で、低価格炭(亜瀝青炭、米国炭等)の調達、船舶構成最適化などによりコスト競争力を確保  
コールセンターは運用効率化により、取扱数量増とコスト低減を図る  
石炭価格及び海上運賃の市況が低迷しているなか、競争力ある価格での調達を行う  
再生可能エネルギーへの対応として、パームカーネルシェル(PKS: 椰子核殻)を含むバイオマス燃料供給事業に取り組む
- **電力**：安定供給を行いつつ、発電量の最大化による余剰売電収益の一層の拡大を目指す一方で、低品位炭利用によるコスト低減を継続  
IPP事業では、バイオマス混焼を強化し、本年7月に施行される再生可能エネルギー全量買取制度への参入も視野に入れる

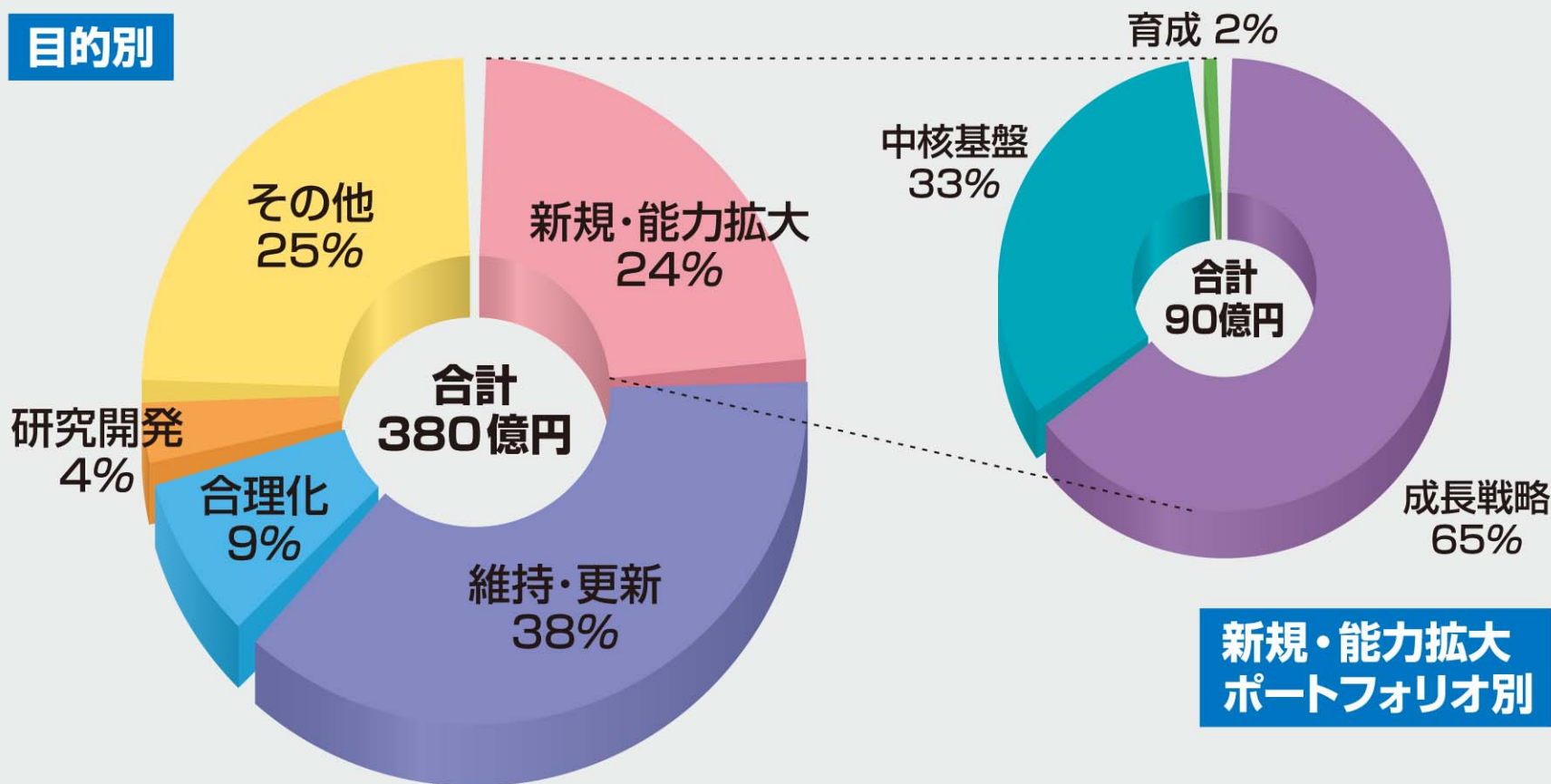
(単位: 億円)

項目	'09年度	'10年度	'11年度	'12年度	'12年度 (中計目標)
売上高	541	591	625	645	640
営業利益	43	40	33	40	28

(単位: 億円)

項目	'10年度	'11年度	'12年度	'10~'12年度 (合計)	'10~'12年度 (中計計画)
設備投資額	353	444	380	1,177	1,080

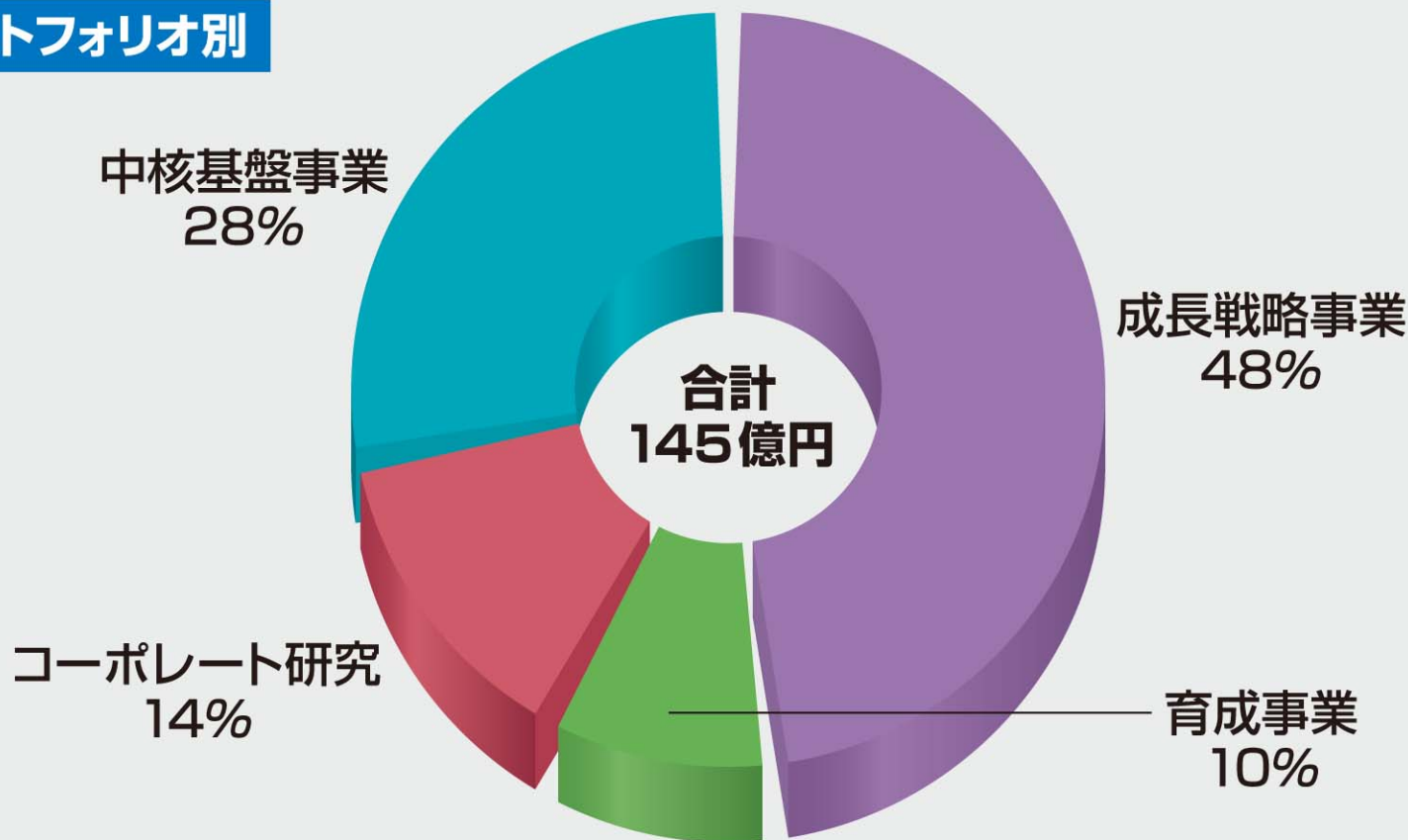
## 目的別



(単位: 億円)

項目	'10年度	'11年度	'12年度	'10~'12年度 (合計)	'10~'12年度 (中計計画)
研究開発費	137	137	145	419	450

## ポートフォリオ別





A large, stylized white number '2' with a blue outline, positioned centrally in the background. The background is a blue gradient with light streaks and a lens flare effect.

中期経営計画(2010～2012年度)

**「ステージアップ2012 -新たなる挑戦-」の進捗**

---



## ① 持続的成長を可能にする収益基盤の確立

**成長戦略事業と中核基盤事業のバランスを取りながら  
事業ポートフォリオの最適化を進め、持続的成長を目指す。**

- 医薬、電池材料、ファインケミカルの3事業を成長を牽引する最重点事業として位置付け
- ポリイミドチェーン事業は、確実に成長軌道へ
- 新興国市場のボリュームゾーン展開を見据えた技術・製品開発
- 事業特性に応じた海外展開
- 需要停滞／縮小が見込まれる事業においても、生産体制の再構築、設備の統廃合により、一定の利益を確保



## ② 財務構造改革の継続

- ネットD/Eレシオ 1倍未満を早期に達成  
⇒ A格取得可能な財務体質を実現
- 設備投資・・・引き続き減価償却費相当額に(3年間で)  
成長の加速や事業構造の変革のためのアライアンス、M&Aへの取組みは強化
- キャッシュ・フロー重視経営の徹底  
在庫管理の強化、物流コスト削減への取組みに加え、  
管理間接業務の効率化を推進

## ③ 地球環境問題への対応と貢献

- 温室効果ガス(GHG)や廃棄物排出量削減、省エネへの取組み強化
- 環境に貢献する技術や製品の創出を促進  
⇒ 事業チャンスとして自らの成長の糧に



### 財務指標は着実に改善、収益基盤も強化が進む

項目	単位	'09年度 実績	'10年度 実績	'11年度 実績	'12年度 予想	'12年度 中計目標	'15年度 ターゲット
ネットD/Eレシオ	倍	1.4	1.1	1.1	1.0	1.0未満	—
自己資本比率	%	27.3	28.3	30.0	32.1	30以上	—
売上高営業利益率	%	5.0	7.2	7.2	6.9	7.5以上	8.0以上
総資産事業利益率	%	4.4	7.2	7.2	7.2	7.5以上	8.0以上
自己資本当期純利益率	%	4.7	9.4	11.9	11.0	12以上	—
売上高	億円	5,495	6,160	6,386	6,780	6,700以上	—
営業利益	億円	275	443	460	470	530以上	700以上
事業利益	億円	293	470	479	485	550以上	—
純有利子負債	億円	2,440	2,110	2,208	2,190	2,200未満	—
自己資本	億円	1,788	1,870	1,994	2,200	2,250以上	—
コストダウン(対'09年度)	億円	—	113	215	320	210以上	—



「ステージアップ2012 - 新たなる挑戦 -」

**① 持続的成長を可能にする収益基盤の確立**

---

## 育成事業

- 航空宇宙材料
- 光関連材料
- 環境関連新材料

## 成長戦略事業

- 医薬
  - ファインケミカル
  - 機能性無機材料
  - リサイクル
  - 電池材料
  - ポリイミド
  - ガス分離膜
  - 半導体関連・電子材料
- ポリイミド  
チェーン

## 中核基盤事業

- カプロラクタムチェーン
- ナイロン樹脂
  - カプロラクタム
  - 工業薬品
  - セメント・生コン
  - カルシア・マグネシア
  - 合成ゴム (ポリエチレン) (ABS)
  - 成形機
  - 産機
  - 製鋼
  - 石炭
  - 電力

事業撤退

再生事業

- アルミホイール



## 最重点市場はアジア

北米他  
9%ヨーロッパ  
18%アジア  
73%

- 海外売上比率
- 主要生産拠点
- ▲ 営業拠点
- ★ 主要機械サービス拠点

南米

インド

中国

韓国

台湾

## 【セグメント別海外売上高】

(単位：億円)

	化粧品・樹脂	機能品・ファイン	医薬	化学計	建設資材	機械・金属成形	エネルギー・環境	その他	合計
'11年度実績	1,190	180	20	1,391	82	332	2	171	1,979
セグメント売上高に占める割合	55.0%	30.0%	18.1%	48.3%	4.0%	46.7%	0.4%	74.2%	31.0%



### 事業特性に応じた戦略的な生産体制の強化

#### 化成品・樹脂

- **カプロラクタム、合成ゴム**：アジアで新プラント建設を計画  
原料メーカーとのパートナーシップにより、原料を安定確保
- **ナイロン樹脂**：タイでナイロン6樹脂とコンパウンドの増産完了

#### 機能品・ファイン

- **ファインケミカル**：タイでジオール新設、スペインでPCD増産ともに完了  
中国企業へのC1化学技術ライセンス供与と、DMCの合併生産
- **電解液**：ダウ社とのJVで米中欧に工場を新設
- **ポリイミド**：SMD社とのJVで韓国に次世代ディスプレイ  
基板用超耐熱PI樹脂の工場を新設

#### 機 械

- 海外調達の拡大と、中国での生産提携

### 成長市場に対応した販売・サービス網の拡充

- ブラジル、韓国、台湾に続き、インドにも拠点を開設

### グローバル開発機能の強化

- スペイン、タイのR&D機能を強化



## 〈カプロラクタムチェーン事業の戦略〉

### チェーン全体での安定収益確保

カプロラクタム、ナイロン6の世界での新增設計画

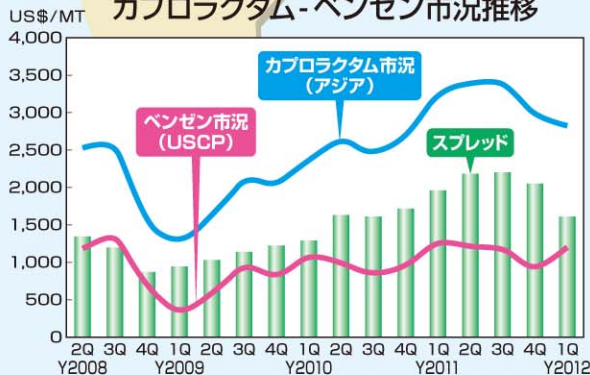
(KT)	カプロラクタム				ナイロン6			
	'11	'12	'13	計	'11	'12	'13	計
中国	100	400	200	700	95	615	490	1,200
その他	45	100	0	145	50	0	50	100
合計	145	500	200	845	145	615	540	1,300

アジア No.1

## 〈カプロラクタム事業の戦略〉：収益の安定化

- 事業環境：
- アジアでナイロン(重合)の新增設が相次ぐ
  - 中国・台湾のCPL 新增設プラントが順次完工  
⇒ CPL 市況軟化  
コストの高い老朽プラントは淘汰へ
  - 副生硫安の需要は堅調に伸長
- 打つ手：
- 高速紡糸性能に優れる一級品を安定供給
  - コスト競争力のある新規プラントの早期建設と、堺工場の高コスト体質への対応
  - 硫安の高付加価値化とマーケティング強化

カプロラクタム-ベンゼン市況推移



### 〈ナイロン樹脂事業の戦略〉：事業の筋肉質化

#### ■ナイロン6樹脂

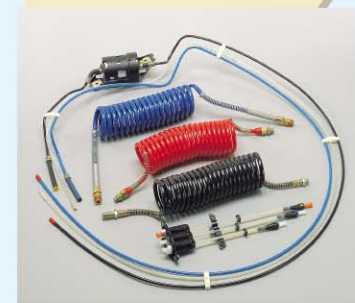
- 事業環境：●自動車部品向けに需要は伸長  
●フィルム用途も、食品包装、LIBパッケージ用に堅調  
●円高環境下で、欧州競合他社の価格攻勢が激化
- 打つ手：●コポリマー・コンパウンド等差別化製品増販  
●価格体系のフォーミュラ化推進

#### ■ナイロン12樹脂

- 事業環境：●世界で四社寡占のニッチ市場  
●最大手原料メーカーでの事故により世界的に品不足が続く
- 打つ手：●原料確保に注力し、フル生産により市場に対応

ナイロン6、ナイロン12  
共にアジアNo.1

アンモニア生産  
日本一



ナイロン12製自動車用チューブ



ナイロン6製インテークマニホールド



食品包装用ナイロンフィルム

### 〈工業薬品事業の戦略〉：チェーン基盤を下支え

- 事業環境：液安、硝酸、硫酸、ガス製品は、需要堅調  
火力発電用脱硝アンモニア需要も増加見込
- 打つ手：生産安定化、コストダウン

## 〈合成ゴム事業の戦略〉

- 日系タイヤメーカー向けを中心に安定供給体制を確立
- 独自製品 (VCR やリニアタイプ等) の販路拡大
- 原料ブタジエンの安定確保

## 世界のBR需要予測

(出典: IISRP)

(KT)		2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
世界	需要	2,749	2,981	3,273	3,493	3,647	3,810
	供給	2,426	2,791	3,034	3,285	3,409	3,521
アジア	需要	1,516	1,641	1,804	1,945	2,032	2,137
	供給	1,254	1,460	1,745	1,945	1,994	2,106

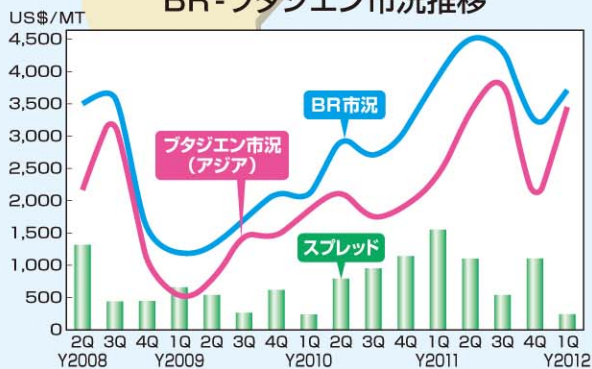
## 事業環境

- タイヤメーカーの増設を背景とした需要増加
- 省エネタイヤに対応する特殊品のニーズ増加

## 打つ手

- MBR('11年)、ナノVCR('13年)上市
- BR増産  
中国・南通にてデボトル増産('09年50kt→'12年72kt)  
千葉にて増産('12年+15kt、'13年+16kt)  
日本・タイ・中国に次ぐ第4工場の検討

## BR-ブタジエン市況推移





年	カプロラクタムチェーン	合成ゴム
2010	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ナイロン(タイ) 2期 50KT(25→75KT)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MBR事業化</li> </ul>
2011	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CPL増産(堺) 5KT(95→100KT)</li> <li>● CPL増産(タイ) 20KT(110→130KT)</li> </ul>	
2012	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ナイロンCompound(タイ) 5KT(6→11KT)</li> <li>● 大粒硫安増産(スペイン) 130KT(70→200KT)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● BR増産(中国/JV) 22KT(50→72KT)</li> <li>● BR増産(千葉) 1st 15KT(95→110KT)</li> <li>● BR増産(千葉) 2nd 16KT(110→126KT)</li> </ul>
2013		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ナノVCR事業化</li> </ul>
2014	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ナイロン6増産(スペイン) 10KT(20→30KT)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ BR第4工場建設</li> </ul>
2015	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ CPL(タイ)第2工場建設</li> </ul>	
2016		
2017		
2018		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ BR第5工場建設</li> </ul>



## 〈ファインケミカル事業の戦略〉

### 既存事業の強化

- DMC 供給体制の拡充
  - ◆ 中国DMC 合併事業立上げ
- ジオール製品のグローバル展開
  - ◆ タイ・ジオール新工場稼動と新規市場（南米他）の開拓

### 環境コーティング材料ビジネスの推進

- PUD(水性ポリウレタン樹脂)の本格事業化
- PCD増産およびグレード展開の加速

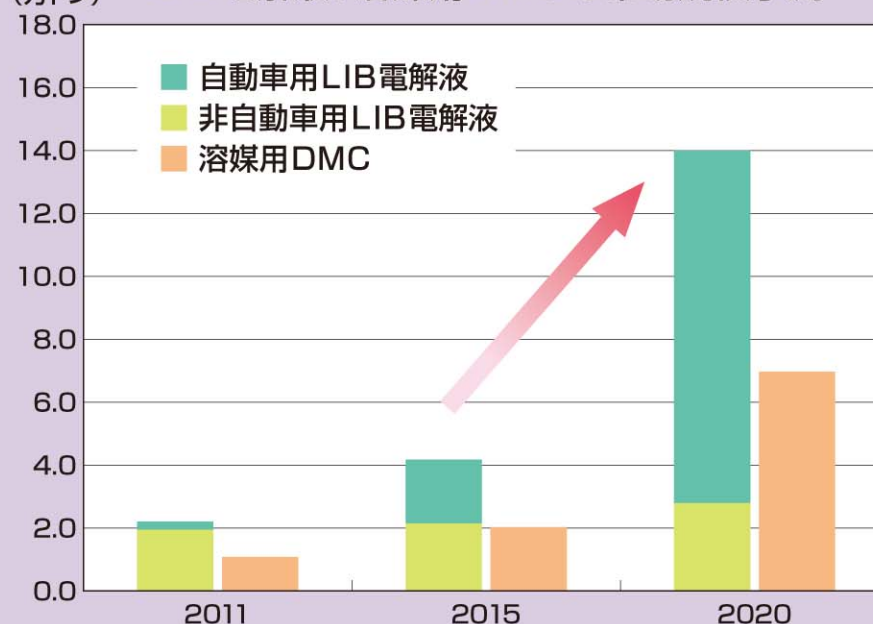
### 新規機能化学品事業の創出

- ASM社との連携による新規高分子材料「スライドリングマテリアル」の事業化
- AMC事業の立上げ

### ライセンス事業の推進

- 石炭からポリエステル原料(MEG)を製造する技術のライセンス展開

(万トン) LIB電解液、溶媒用DMCの市場規模予測



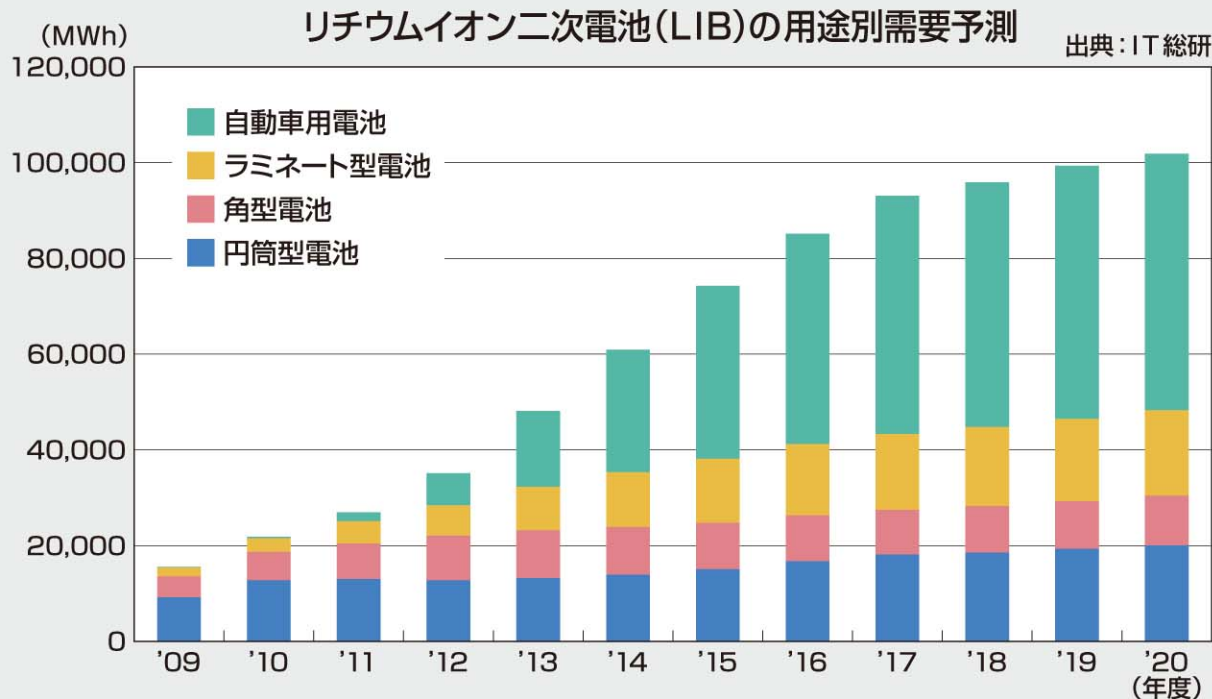
ポリカーボネートジオール (PCD)を使用した  
ポリウレタンの用途(人工皮革)



電解液



セパレーター



## 〈電解液事業の戦略〉

- 高性能電池向け高性能電解液では技術開発カトップの地位を維持
- ダウ・ケミカル社との合併により競争力UPと、グローバル展開を加速
- コスト競争力の強化と日米中欧四極体制による更なるシェア拡大
- 車載・電力貯蔵LIB電解液の積極的展開
- ハイレベルの品質保証体制による差別化

## 〈セパレーター事業の戦略〉

- 伸長する中国市場におけるデファクトスタンダードの堅持
- 生産技術の高度化と生産能力の拡大
- 車載・電力貯蔵LIBセパレーターの拡販
- 宇部マクセル社での塗布型セパレーターの開発促進
- たゆまない品質強化による差別化



### ■ その他リチウムイオン電池関連材料

#### 電解液

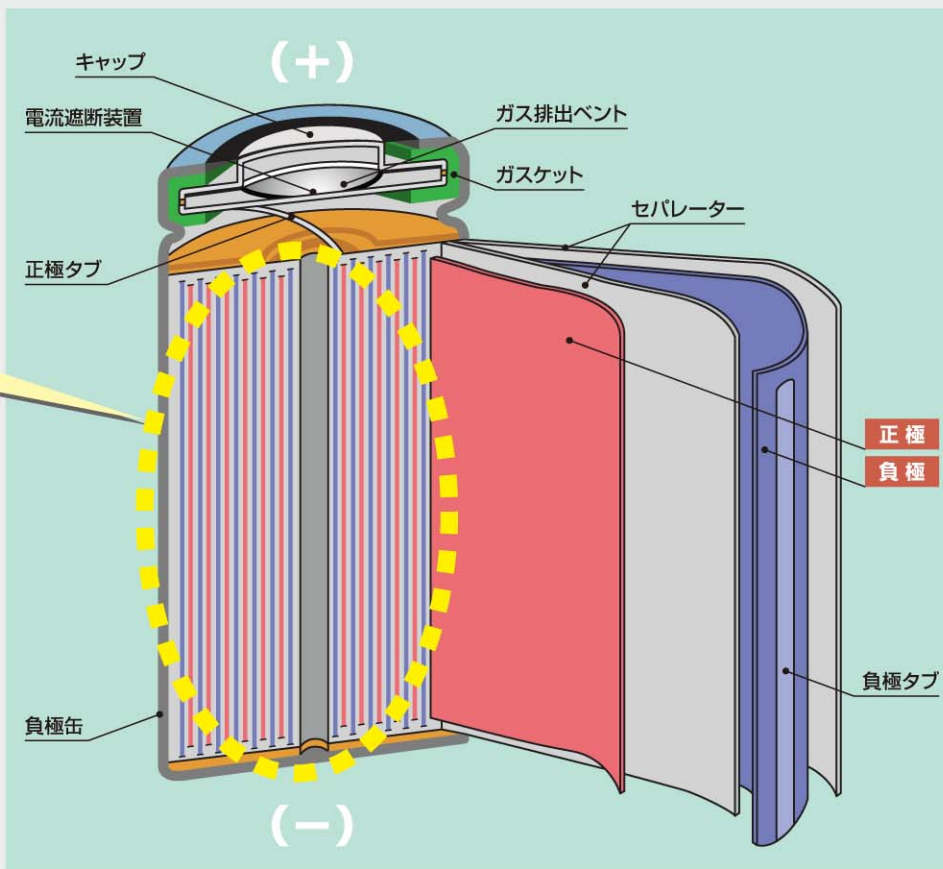
##### 【溶媒】

- 高純度DMC  
グローバルな需要拡大に対応し、国内の既存工場に加えて、中国で合併による一般グレード生産と高純度化設備を計画中
- DEC、MEC  
欧州に設備新設を検討

#### パッケージ

##### 【パッケージフィルム】

ソフトパッケージ用途で、ナイロン6フィルムを拡販



#### 正極・負極

##### 【導電助剤】

AMC(多層カーボンナノチューブ)は、優れた分散性と導電性によりLIB電極用途の需要拡大を見込む

##### 【バインダー】

ポリイミドワニス  
LIB向け市場開発を推進中

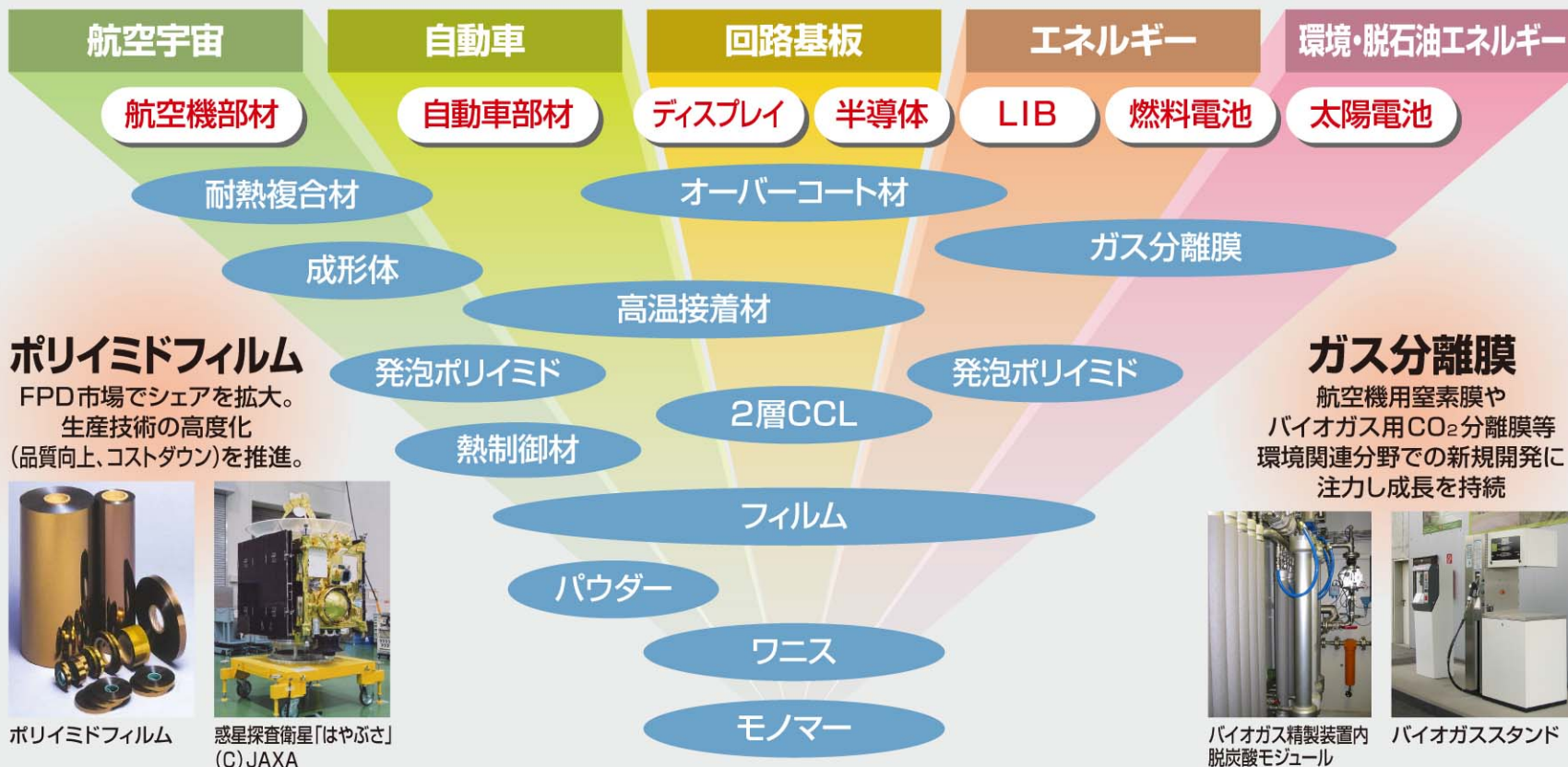
### ■ 次世代電池材料の開発推進

### 〈ポリイミドチェーンの戦略〉

ポリイミド： 基軸としての回路基板分野 (FPD他) の強化

新規製品の開発と成長市場分野への展開 (太陽電池基板、次世代ディスプレイ基板、LiB バインダー他)

ガス分離膜： 窒素膜・除湿膜の基盤強化、エネルギー・環境関連用途の拡大





## 機能品・ファイン製品の生産拡充

年	ファインケミカル	電池材料		ポリイミド チェーン	その他機能性材料	
		電解液	セパレーター		MO	窒化珪素
2010						● 増産 (宇部)
2011	● ジオール 工場新設 (タイ)		● 増産 (宇部)			
2012	● PCD増産 (スペイン)	● 増産 (堺)		● 超耐熱性 PI樹脂 工場新設 (韓国/JV)	● 増産 (宇部)	● 増産 (宇部)
2013	● DMC 工場新設 (中国/JV)	● 工場新設 (米・中/JV) ● 工場新設 (欧/JV)	● 工場新設 (堺)			
2014						
2015		JVで順次増産	順次増産	JVで順次増産	順次増産	順次増産



### 〈医薬事業の戦略〉

#### ビジネスモデルを発展させ、基盤作りと成果刈取りにより安定的成長軌道に乗せる

- 新規自社創薬、並びに既存自社医薬品のLCM(ライフサイクルマネジメント)推進
- 設備増強、技術力向上、及びサプライチェーン強化による新薬原体を中心とする受託の拡大 ⇒ 第四医薬品製造設備完工(2011年度)

#### ◆ 自社医薬品の共同開発状況

商品名(開発コード)	適応症	現状(上市地域)	今後の展開
<b>タリオン</b> 一般名:ペボタスチンベシル酸塩 販売:田辺三菱製薬(株)	<b>抗アレルギー剤</b> ● アレルギー性鼻炎 ● 蕁麻疹 ● 皮膚疾患に伴うそう痒 ● アレルギー性結膜炎	タリオン錠(日本・韓国) タリオンOD錠(日本) ペブリーブ点眼薬(米国)	● さらなるライフサイクルマネジメント (適応症・製剤追加、新興国市場への地域拡大等)を図る
<b>カルブロック</b> 一般名:アゼルニジピン 販売:第一三共(株)	<b>血圧降下剤</b> ● 高血圧症	カルブロック錠(日本) レザルタス配合錠(日本)	● 第一三共(株)オルメサルタン・カルブロックファミリーとして 販売促進
<b>エフィエント</b> 一般名:プラスグレル 販売:第一三共(株)、 米国・イーライリリー社	<b>抗血小板剤</b> ● 心筋梗塞、脳梗塞 など	エフィエント錠 (米国・欧州ほか主要国)	● グローバルな国・地域への販売拡大 ● 適応症の追加:現行のACS-PCIにACS-MMを追加(第3相) ● 国内開発進行中(第3相) 【参考】クロピドグレル(プラビックス)売上 グローバル:94億ドル(2010年/CSDユート・ブレン) 適応症別内訳:ACS-PCI:23%、ACS-MM:42%(2007年、米国)
<b>(DE-117)</b> パートナー:参天製薬(株)	<b>緑内障治療薬</b> ● 緑内障、高眼圧症	ライセンス契約及び 共同開発契約を締結済み	● グローバル展開を図る

\* ACS-PCI:経皮的冠動脈形成術(PCI)を受けている急性冠症候群(ACS)患者の治療薬 \* ACS-MM:薬剤治療を受けている急性冠症候群(ACS)患者の治療薬

#### ◆ 受託医薬品の状況

##### 営業品

原体/降圧薬、高尿酸血症薬等 中間体/抗血栓薬、抗脂血症薬、抗凝固薬等

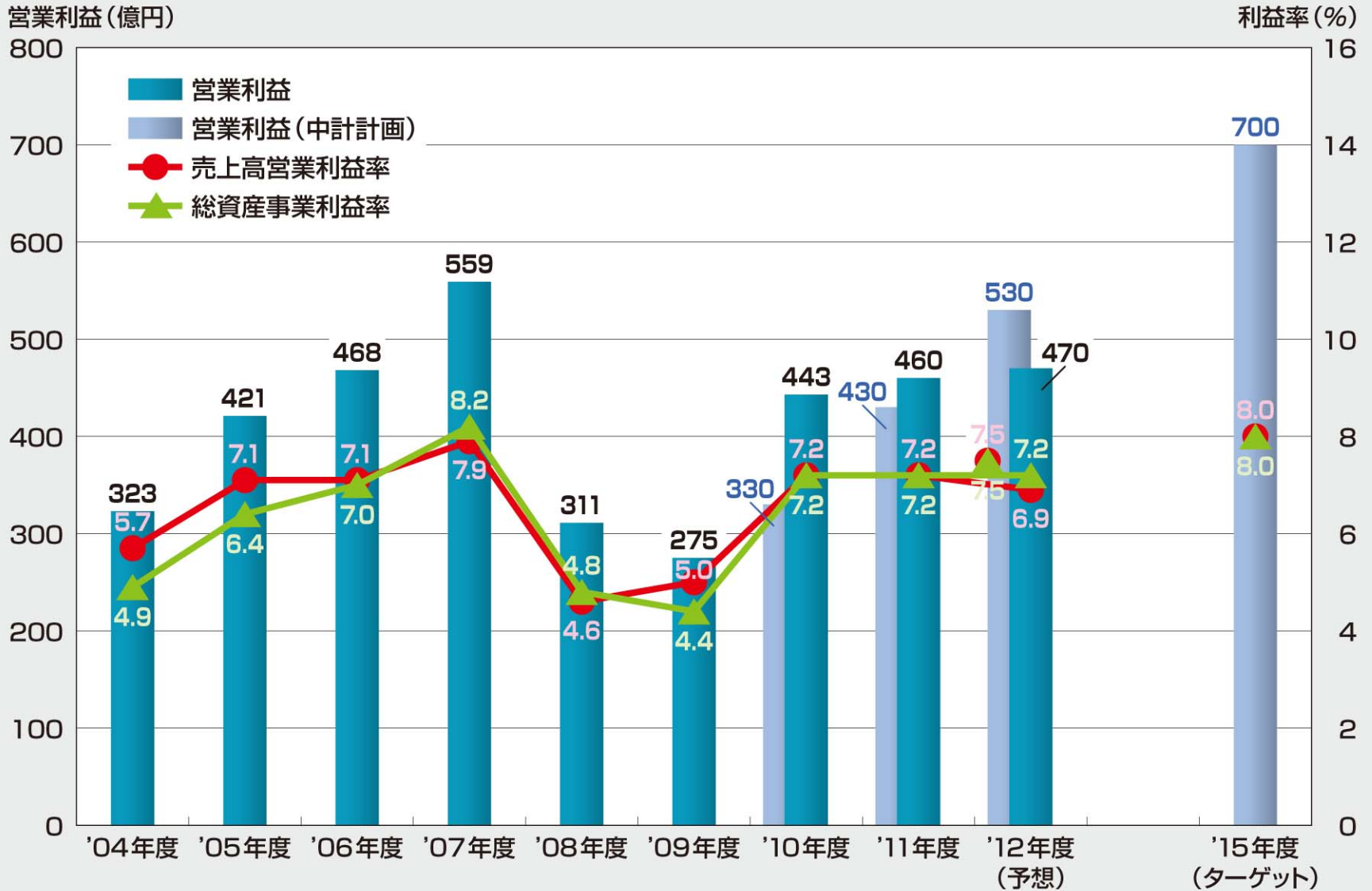
国内外大手製薬会社からの  
受注案件が順次上市

##### 開発品

抗癌剤、糖尿病薬等の原体・中間体



案 件	場 所	完工時期	
<b>成長戦略事業</b>			
<b>機能品・ファイン</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ジオール工場新設</li> <li>● PCD 2期工場</li> <li>● AMC製造設備</li> <li>● 電解液増産設備</li> <li>● 機能膜(セパレーター)増産設備</li> <li>● 窒化珪素(セラミックス)増産設備</li> <li>● MO 第二工場</li> <li>● 明和化成 フェノール樹脂第4工場設備</li> </ul>	タイ スペイン 宇部 堺 宇部 堺 宇部 宇部 宇部	'11/6 '12/3 '12/3 '12/3 '11/8 '13~'14年度 '12/1 '12/8 '12/3	
<b>医 薬</b>	● 第四医薬品製造設備	宇部	'11/9
<b>建設資材</b>	● 苅田セメント工場 廃プラ類処理設備 ● 伊佐セメント工場 下水汚泥乾燥設備	苅田 伊佐	'12/3 '12/12
<b>中核基盤事業</b>			
<b>化成品・樹脂</b>	● カプロラクタム デボトル増産 ● 硫安 大粒化設備 ● 合成ゴム 特殊品(MBR)設備 ● 合成ゴム 増産	堺・タイ スペイン 千葉 中国・千葉	'11/4・12 '12/3 '11/2 '12/4・8

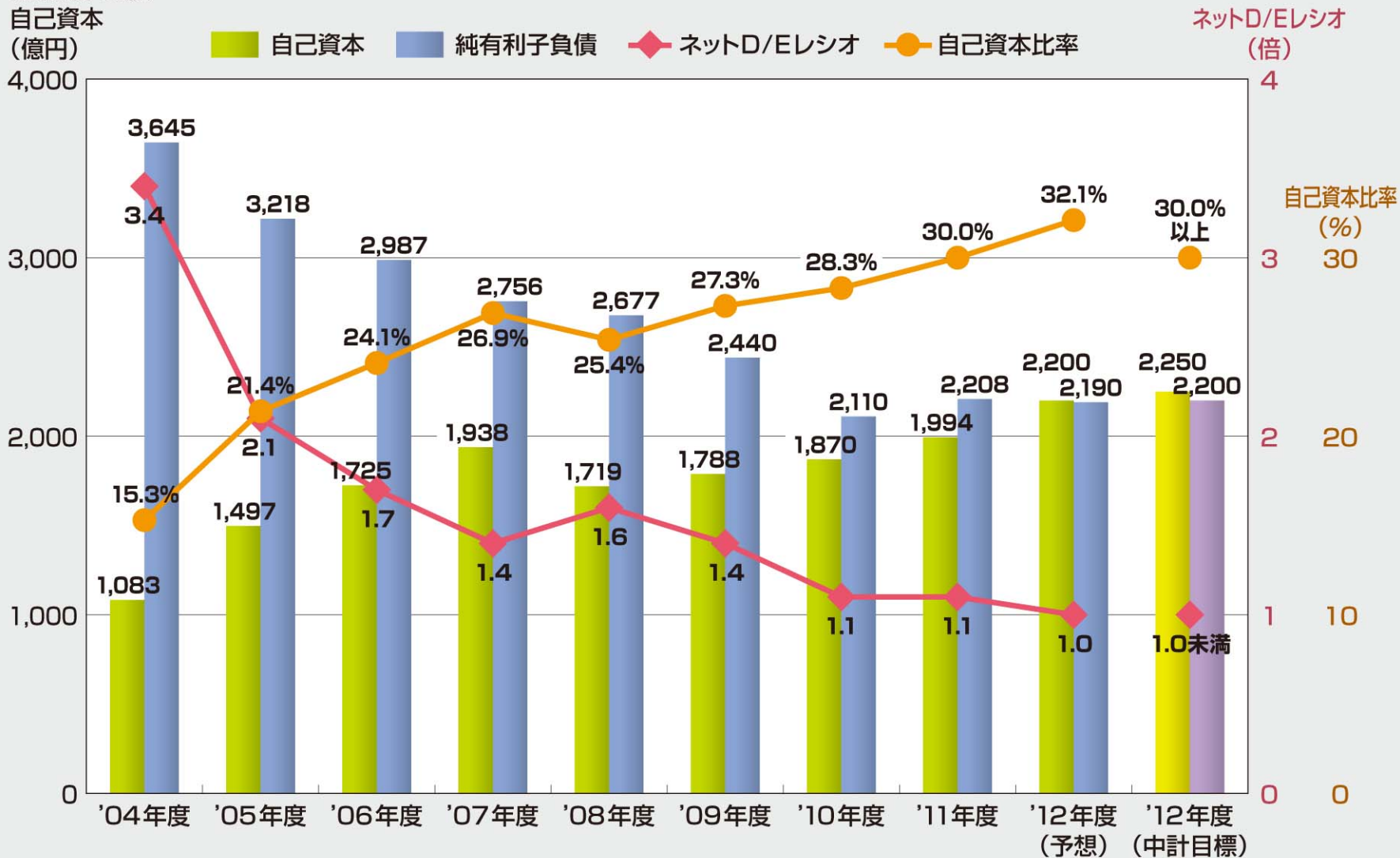




「ステージアップ2012 –新たなる挑戦–」  
**② 財務構造改革の継続**

---

純有利子負債  
自己資本  
(億円)



(単位：億円)

	'10年度 (実績)	'11年度 (実績)	'12年度 (予想)	'10~'12年度 累計	'10~'12年度 累計(中計計画)
<b>営業キャッシュフロー (A)</b>	<b>670</b>	<b>406</b>	<b>520</b>	<b>1,596</b>	<b>1,570</b>
經常利益	391	408	410	1,209	1,035
減価償却費	331	329	325	985	1,080
税金支払	△ 48	△ 83	△ 110	△ 241	△ 210
その他	△ 4	△ 248	△ 105	△ 357	△ 335
<b>投資キャッシュフロー (B)</b>	<b>△ 286</b>	<b>△ 435</b>	<b>△ 440</b>	<b>△ 1,161</b>	<b>△ 1,160</b>
設備投資	△ 353	△ 444	△ 380	△ 1,177	△ 1,080
その他	67	9	△ 60	16	△ 80
<b>フリーキャッシュフロー (A+B)</b>	<b>383</b>	<b>△ 29</b>	<b>80</b>	<b>434</b>	<b>410</b>
有利子負債削減	△ 197	△ 66	△ 9	△ 272	△ 360
配 当	△ 43	△ 54	△ 55	△ 152	△ 150
その他	△ 20	△ 14	△ 7	△ 41	△ 20
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>122</b>	<b>△ 164</b>	<b>9</b>	<b>△ 33</b>	<b>△ 120</b>

企業価値を向上させ、時価総額の増大を図るとともに  
下記方針により株主への還元を

### 配当方針

業績に対応した配当が基本  
一方、株主の中長期的な利益確保を図るうえで、  
将来の事業展開のための内部留保の充実も重要  
⇒ これらを総合的に勘案して株主配当を決定

本中計期間中は  
連結配当性向 20%~25%を目安に  
着実な増配を目指す。



A large, stylized white number '2' with a light green outline is centered in the background. The background is a gradient of green and blue.

「ステージアップ2012 ー新たなる挑戦ー」

## **③ 地球環境問題への対応と貢献**

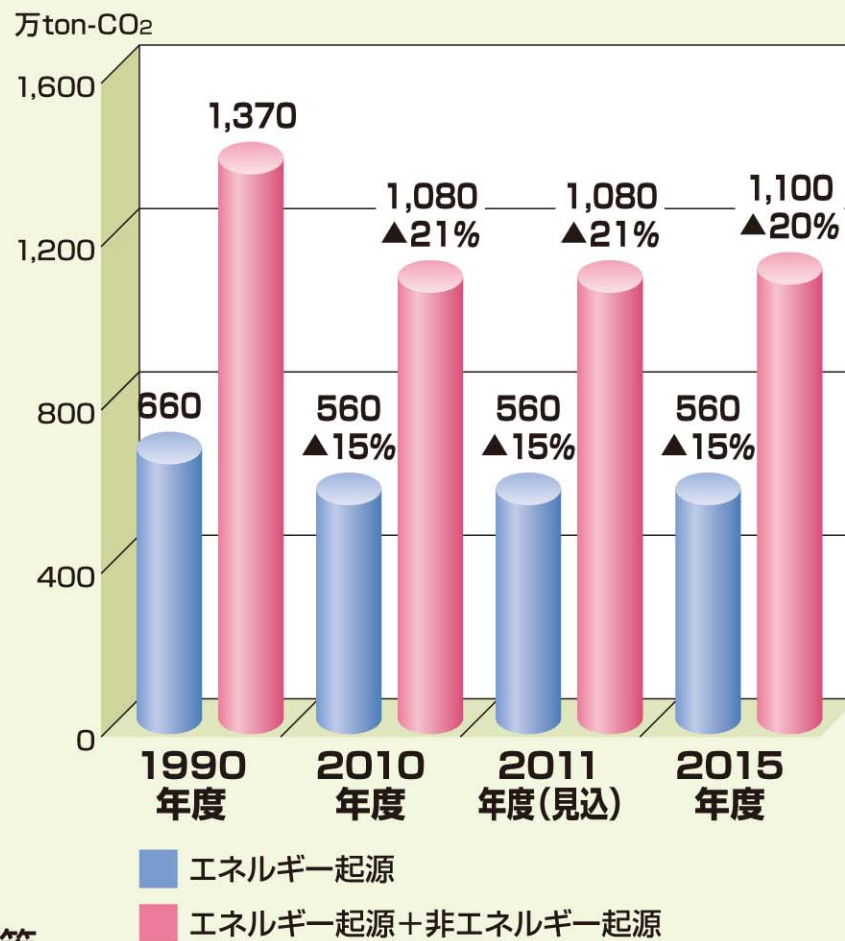
---

- UBEグループ全体で2015年度までにエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量を1990年度比15%削減
- CO<sub>2</sub>排出量は2015年度までに1990年度比20%削減を目指す

### 【2012年度までの取組み】

- 省エネ設備の導入、廃棄物の利用拡大などへの取組みにより、CO<sub>2</sub>排出量を年間約27万トン削減（当初計画：約18万トン削減）
- 2009年度運用開始の「GHG管理システム」で事業所別CO<sub>2</sub>排出量を迅速かつ的確に把握
- c-LCA（カーボン・ライフサイクル・アナリシス）等によるCO<sub>2</sub>排出、削減の定量的把握に取組み中

### CO<sub>2</sub>排出量の推移



## UBEグループの技術・製品を通して、地球環境に貢献

### 次世代エネルギー関連素材・製品

- LIB (電解液、セパレーター)
- 太陽電池 (基板用ポリイミドフィルム、生産部材用窒化珪素)
- 風力発電 (軸受ボール用窒化珪素)
- 燃料電池 (加湿用ガス分離膜)
- 新規バイオマス燃料 (PKSなど)



### 省エネ・環境負荷軽減に貢献する素材・技術



- LED関連材料 (蛍光体材料など)、有機EL材料
- 軽量化・低燃費化部品素材 / 加工技術 (ナイロン樹脂、合成ゴム、成形機、航空宇宙材料)
- VOC低減材料 (環境コーティング材料)

### 環境改善・保全に貢献する素材・製品・技術

- リサイクル技術 (セメント・資源リサイクル、樹脂リサイクル)
- 香木乱伐による森林破壊を回避する合成香料 (ヘリオフレッシュ®)
- 水・空気・土壌の浄化 (光触媒繊維、マグネシア系環境改善剤、高反応性消石灰)





### ■ 資源リサイクル(セメントキルンでの廃棄物利用)

⇒ 再資源化要請も強く、今後も伸長が見込める重要な収益源

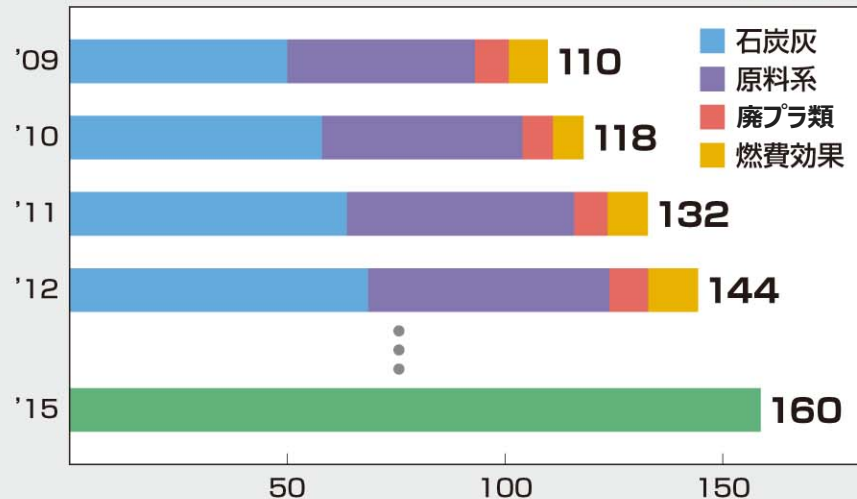
(金額：億円)

#### 〈資源リサイクル事業の戦略〉

- 利用設備の更なる充実
- 技術開発のスピードアップ
- 収集力強化(燃料系・都市ゴミ灰)
- 新規リサイクル事業の探索・創出



セメントキルンでの廃棄物利用  
売上高目標 **160億円**(2015年度)



### ■ 樹脂リサイクル(調色リサイクル樹脂『UBE-コンポジット<sup>®</sup>』)

⇒ UBEのコンパウンド技術と調色技術を合わせたオンリー1製品

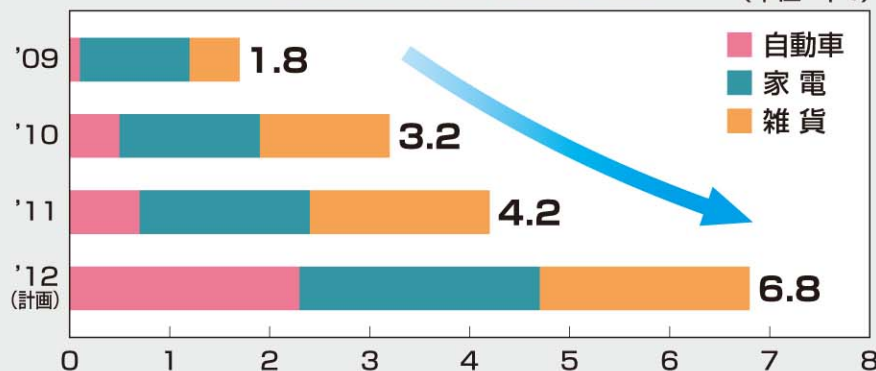
再生プラスチック需要の高まりに対応

調色リサイクル樹脂 販売量

(単位：千t)

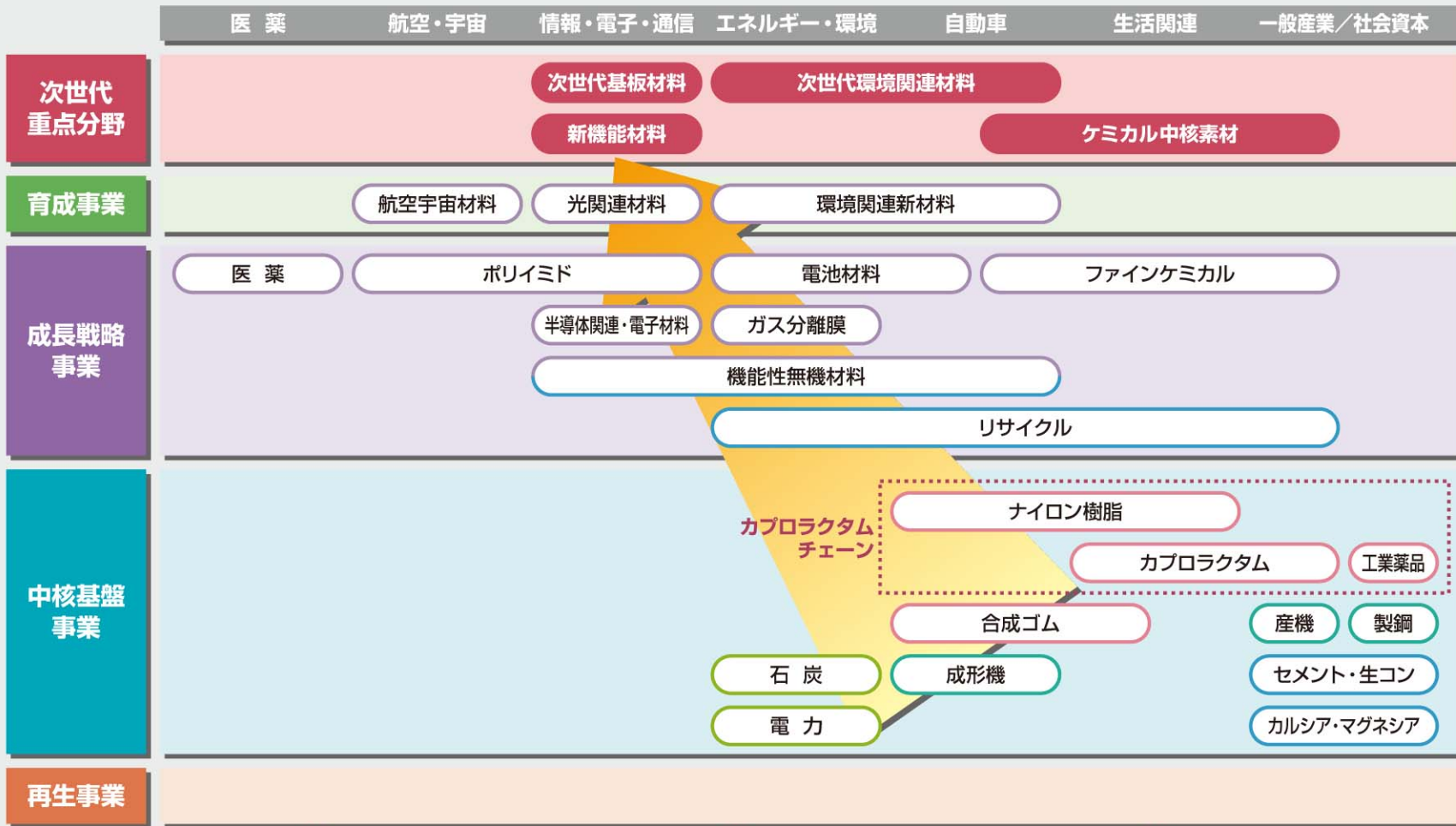
#### 〈樹脂リサイクル事業の戦略〉

- 大手家電メーカーとの取引拡大
- 自動車分野での再生樹脂採用拡大
- グリーン購入法関連製品(オフィス家具等)への展開

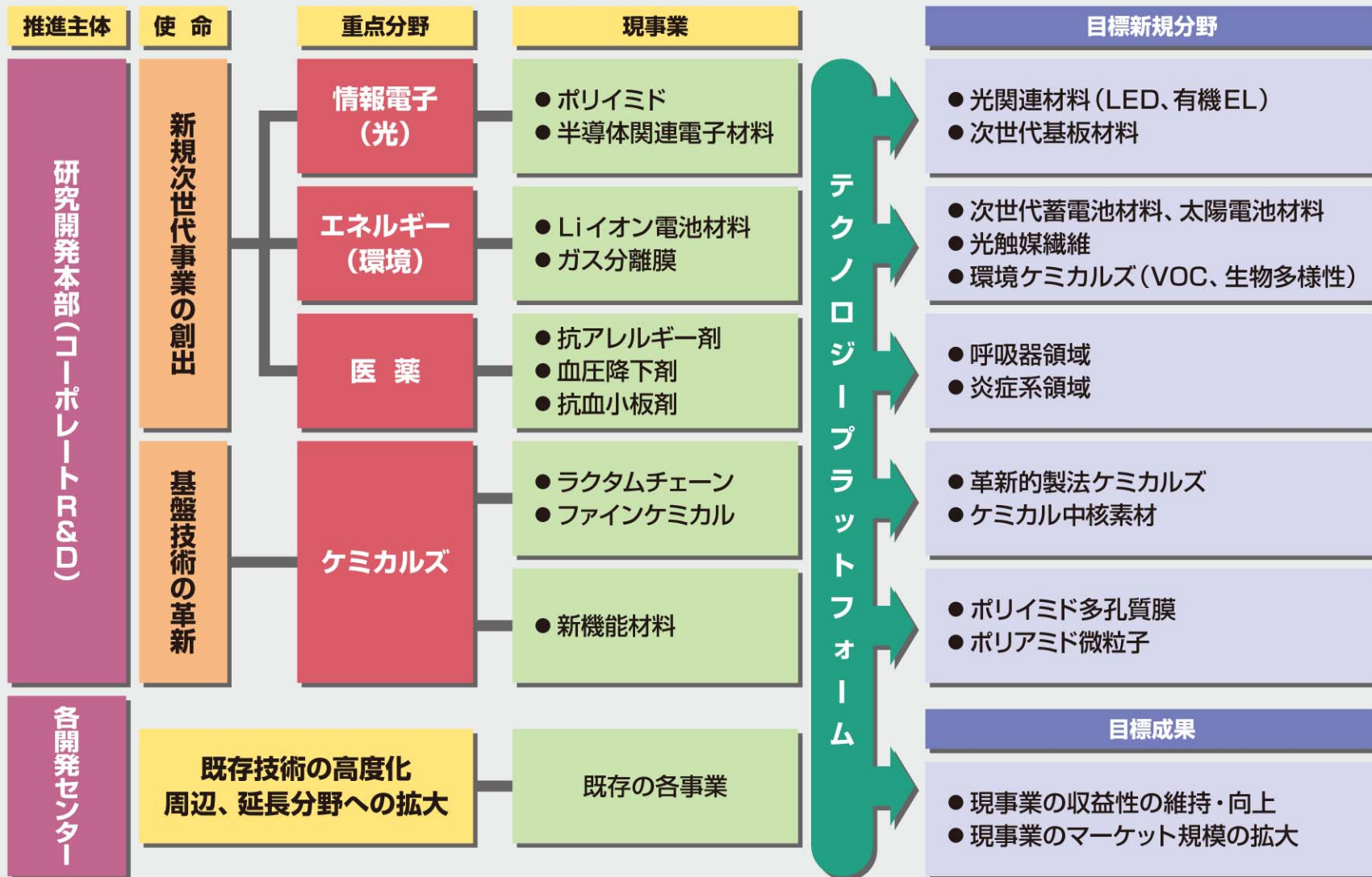


# 3 參考資料

---



有機合成、合成触媒技術、重合技術、重合触媒技術、無機化学技術、分子設計技術、成形加工技術、精密重合技術、精密表面加工技術、機能評価技術、ナノテクノロジー  
**技術プラットフォーム**







### 〈半導体関連・電子材料事業の戦略〉

#### シリコン半導体LSIプロセス材料

- ウェハー洗浄液：高純度薬品（硝酸、硫酸、安水）
- アルミのエッチングガス：三塩化ホウ素
- 次世代配線、電極材料：各種CVD金属錯体の開発・推進

拡販



シリコン半導体LSI



パソコン



液晶テレビ



スマートフォン



信号機

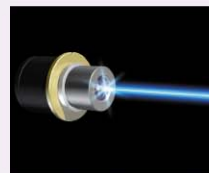
#### 半導体封止材料

- フェノール樹脂（明和化成）

#### 化合物半導体プロセス材料

- 有機金属化合物（MO）  
TMG、TEG、TMI、TMA、 $CP_2Mg$   
等は、照明、液晶TVバックライト用  
白色LED向けに需要が増加中

拡販



レーザーダイオード



発光ダイオード

#### 太陽電池プロセス材料

- 高純度薬品
- 窒化珪素 等



太陽電池



CD/DVD/ブルーレイ

## 耐熱構造材料

窒化珪素



## 高純度セラミックス粉末

カルシウム系粉末



宇部マテリアルズ

マグネシウム系粉末



宇部マテリアルズ

MGC



チラノ繊維・チラノヘックス



## 前駆体セラミックス

ハイプレシカ  
(真球状シリカ)

宇部日東化成

ハイセラテック  
(透明多孔質コーティング材)

宇部日東化成

グループの  
横断的技術力

## 新規分野への展開

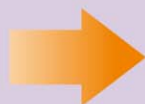
光分野

環境(水・大気・土壌)改善分野

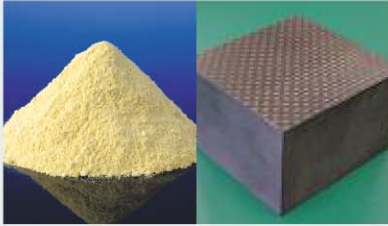
情報・半導体分野

## 〈機能性無機材料事業の戦略〉

UBEグループの総合力発揮



- 無機事業の新たな柱の樹立に向けた活動の強化
- グローバルな事業展開を推進(事業領域の拡大)



耐熱コンポジット材料PETI

2009年～2015年  
ボーイング共同開発

- エンジンナセル
- パイロン



発泡ポリイミド

2012年  
航空機向け採用

- 航空機  
エアダクト断熱・遮音
- 原発、艦船  
断熱材



航空機エアダクト



熱制御フィルム

JAXA 採用  
宇宙用ヒーター  
白色ペイント

- 人工衛星
- ロケット



惑星探査衛星  
「はやぶさ」  
(C) JAXA



チラノ繊維・チラノヘックス

2011年～2013年  
実用化試験  
→ システム実証

- 次世代商用  
ジェットエンジン
- 飛翔体部材



ジェットエンジン



## ■ 次世代を担うLED用新規蛍光材料

### ZEBRIGHT® (MGC光変換材料)

- ひたすら明るさを追求するLEDのために  
当社独自に開発した単結晶複合材料  
(Melt Growth Composite)に光変換機能を  
付与したYAG系ソリッド蛍光体
- 量産設備検討中



### ◆ MGC光変換材料

YAG:Ce相(青色光を黄色光に変換)

Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>相(青色光を透過)



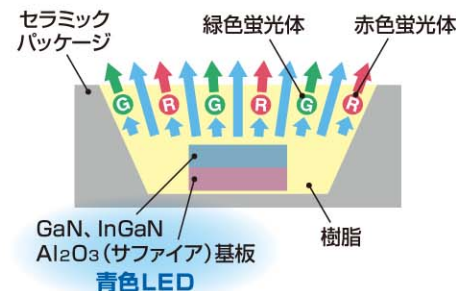
#### MGC適用例



### 窒化物蛍光体(次世代照明用材料)

- 黄色～橙色の酸窒化物蛍光体に続いて、  
限りなく太陽光に近い自然な色を再現する次世代LEDのために  
窒化珪素で培ってきたテクノロジープラットフォームを生かした  
窒化物蛍光体を開発中

### ◆ RGB型白色LED



## ■ 有機EL用材料

- 用途：有機EL照明分野
- 特長：発光効率の向上と素子の長寿命化を実現する純青燐光関連材料及び周辺材料(開発中)



### PUD (水性ポリウレタン樹脂)

- 水中にポリウレタン樹脂を分散させた、VOC発生が少ない樹脂製品
- 自動車・家電向け塗料、接着剤、インキ向け等で需要が急増

- 技術導入による開発加速
- 競争力のある自社PCDの利用
- グレード開発・技術サービス機能強化
- 自社設備化(2011年1月稼動)

事業拡大で社会へ貢献

#### 市場環境

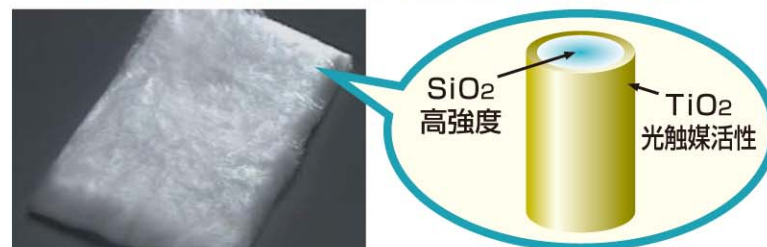
- 環境規制
- 温暖化問題
- グリーン調達
- 省エネ

**PUD市場の拡大  
成長率6%、  
世界市場20万t  
約1,200億円**

### 光触媒繊維

- 光触媒は、光エネルギーを利用し有害有機物質を分解するクリーンな環境浄化触媒
- 基材のシリカ( $\text{SiO}_2$ )に対し二酸化チタン( $\text{TiO}_2$ )を傾斜的に形成させた繊維状触媒(直径 $7\mu\text{m}$ )
- 高強度と高光触媒活性を両立し、また形状の自由度が高く機器への組込みが容易

環境浄化触媒として早期事業化を目指す



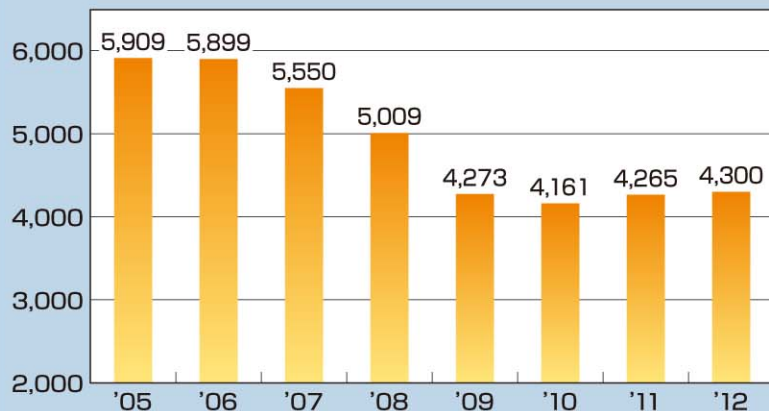
### ヘリオトロピン

- サッサfras由来の化合物で、香料として安定需要
- ヘリオフレッシュ®(当社製法は第60回日本化学会「化学技術賞」を受賞)に続き、完全合成法での代替により、供給不安を解消する一方で森林資源を保護



### 〈セメント事業の戦略〉

国内セメント需要想定(万トン)



### 〈生コン事業の戦略〉

#### 規模見合いの体制構築と合理化の継続

- 需要に見合う体制へ移行(工場集約化)
- 合理化・コストダウンの継続
- 震災復興に積極的に貢献
- 適正価格の獲得

内需は底打ち、外需は堅調

エネルギーコストは高止まり

収益最大化のため、合理化推進の継続と  
需要増に柔軟に対応できる供給体制の整備

#### 生産面

- フル稼働体制を維持
- 石炭コストの低減

#### 物流面

- 適正な物流設備・体制の構築
- 震災復興のための供給体制整備

#### 営業面

- 廃棄物利用設備の充実(3カ年で約50億円投資)
- 価格是正への継続的取組み

### 〈カルシア・マグネシア事業の戦略〉

宇部マテリアルズ…生石灰業界のトップ企業

マグネシアクリンカー

国内オンリーワン企業

- 基盤事業の収益力強化
- カルシア事業国内外展開の継続実施
- 新規市場・新規製品の拡大  
酸化マグネシウム、水酸化マグネシウムの  
電子材料分野、及び環境対策分野での拡大

### 〈機械事業の戦略〉

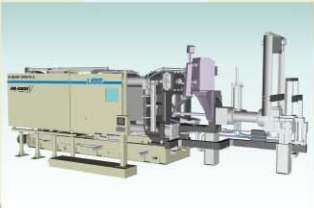
- グローバル化対応力強化とサービス事業の充実により収益とキャッシュフローの創出をはかる



アンカーハンドリングウインチ (船用機械)



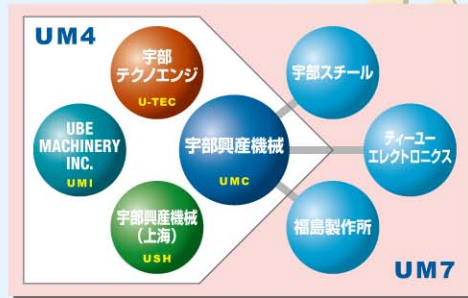
ビレット (製鋼品)



ダイカストマシン (成形機)



縦型ミル (産機)



### 事業環境

- 自動車産業：新興国の成長は継続
- 新興国・資源国のインフラ投資は継続

### 打つ手

- 需要増が見込める新興国での成形機拡販 (販売人員増強、新商品投入)
- 産機 (船用機械含む)、製鋼のアジア地域への事業領域拡大
- グローバルサービス網の強化

### 〈石炭・電力事業の戦略〉

- 競争力のある石炭と電力を UBEグループに安定供給
- 安定した収益、キャッシュ・フローの創出
- エネルギー・地球環境問題に対応し、技術開発を推進

### 事業環境

- 新興国での需要増大や、世界的な原発政策見直しに伴う中長期的なエネルギーコスト上昇
- 地球環境問題への対応要請

### 石炭事業の打つ手

- コールセンターの効率的運用
- 競争力のある価格での調達
- 新規バイオマス燃料(PKS)利用と、褐炭等低品位炭利用技術開発を推進

### 電力事業の打つ手

- 低品位炭 使用炭種の拡大と設備対応強化
- バイオマス混焼の推進
- 外販電力の継続(発電量の最大化)



沖の山コールセンター



IPP発電所

- 海外拠点
- 石炭調達先



# 技術の翼 革新の心

Wings of technology  
Spirit of innovation

**UBE**

本資料における将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化によって見通しと大きく異なる場合もあり得ますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場などがあります。但し、業績に影響を及ぼす要因はこれらに限定されるものではありません。